

カンボジア商工会議所正副会頭等との懇談会



塩田共同委員長(前列左)とキット・メン会頭(前列左から2番目)

日 時：2019年5月29日(水) 15時00分～16時00分

会 場：東京商工会議所 4階 「日商会議室 A/B」

参 加 者：カンボジア側 キット・メン カンボジア商工会議所会頭ほか18名
日本側 塩田 誠 日本メコン地域経済委員会共同委員長ほか37名
計55名

言 語：日本語—カンボジア語 逐時通訳

開催経緯：カンボジア商工会議所(CCC)のの会頭や副会頭等、経済ミッションの一行(計19名)がフンセン首相に同行し来日した機会を捉えて開催したもの。

概要：

塩田共同委員長より、日本商工会議所および日本メコン地域経済委員会に関して説明。また、カンボジアへの今後の期待として、1つ目に、人材の確保や育成。2つ目に、裾野産業の発展。最後に、通関手続きの簡素化を挙げた。加えて、政治・経済の安定が経済発展には大変重要であると強調し、日本とカンボジアの経済連携強化にぜひ、カンボジア商工会議所(CCC)のご協力をお願いしたいと呼びかけた。

これに対し、キット・メン会頭は、政策担当の副会頭を通じて相談してもらえれば、担当大臣を通じて首相に要望し、各機関と調整を図ることができるかと主張し、先に挙げられた期待へ応えることへの意欲的姿勢を示した。

また、フンセン首相がこのほど毎月1%の前払い法人税の撤廃を表明したことを紹介し、CCCもこれを歓迎していると述べた

日本の投資について、他国に比べ進出が遅れており今ならまだ挽回できるが、5年後では遅れたままになってしまうと危惧した。

懇談会終了後、両国の参加者同士による活発なネットワーキングが行われた。

以上